

小佐世保地区

手をとり合って住みよいまちづくり

～みんなの力でできること～

1.小佐世保地区の特徴

小佐世保地区は、烏帽子岳のすそ野に広がる、街も山も海も一望に見渡すことができる高台に位置します。戦前から今日まで、閑静な住宅地として着実な歩みを続けてきています。

地形的に坂道や階段が多いため、高齢者の方々にとっては大変な場合もありますが、交通の便も良く、アーケードなどの中心街にも近いため、生活しやすい地域です。

この地区は7つの町内会で構成されていますが、お互いに交流が図られており、地域住民の皆さんのご理解とご協力のおかげで、事件や事故の少ない地域となっています。

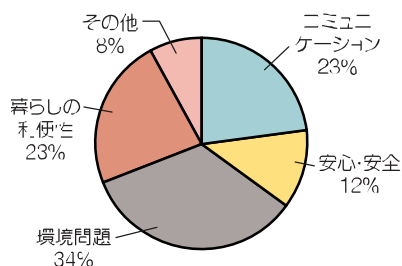
他の地区と同様に、小中学校の児童生徒数は減少傾向にあるため、将来の不安を感じることもありますが、現在の子どもたちは明るくのびのびと育っており、一声かけると素直に返事を返してくれます。

【小佐世保地区の状況】

- ①人口 5,908人
- ②世帯数 2,705世帯
- ③高齢化率 28.9%
- ④自治会(町内会等)数 7

2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

ボランティアのあふれるまちづくり

- お年寄りやひとり暮らしの方には、一人ひとりが気がけながら声かけをしましょう。
- 大人が子どもの手本になり、思いやりの心を育てましょう。
- 行事に誘って町内の関心を持ってもらいましょう。

あいさつではじまる安全安心のまちづくり

- みんなで防犯に努めましょう。
- 不審な行動をしている子どもには周りが気をつけて注意し合いましょう。
- 集団で登下校するように、みんなで誘い合いましょう。

マナーを守って美しいまちづくり

- ごみのポイ捨てや不法投棄をしないようポスターや回覧板で注意を呼びかけましょう。
- 地域で花いっぱい運動をしましょう。
- ペットの飼い主はマナーを厳守し、責任を持ってふんを処理しましょう。

支えあう心がつくるまちづくり

- 近所の人などがお年寄りの買い物を手伝いましょう。
- 行きつけのお店などに配達をお願いしましょう。

戸尾地区

とのおの和

～戸尾から広げていこう みんなの輪～

1. 戸尾地区の特徴

戸尾地区は、市を代表する四ヶ町商店街の一角を占めている一方で、全国的にも稀少価値の高いスポットであるトンネル横丁を含む“戸尾市場”があり、商業活動の幅広さで抜きん出ています。

本来、戸尾地区とは、旧戸尾小学校の校区を指していて、「市の中心部としてのポジション」としての誇りを持った地域でした。それは、親から子へ、子から孫へと代々受け継がれてきた意識であったと思われます。

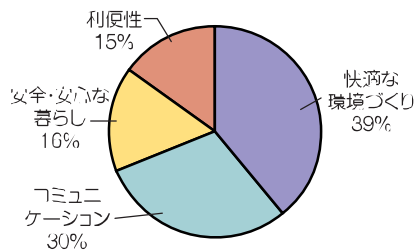
地域の象徴でもあった戸尾小学校が統合によって失われたことは残念ですが、学校の跡地はさせば市民活動交流プラザやエコプラザとして使われており、これらの建物を活用しながら、地域や世代を越えた新たなネットワークの形成を目指しています。

【戸尾地区の状況】

- ①人口 2,481人
- ②世帯数 1,328世帯
- ③高齢化率 29.8%
- ④自治会(町内会等)数 14

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

がんばるぞ きれいなまちは 私から

- 一人ひとりが町内美化を心がけましょう。
- ごみ箱を撤去しましょう。
- ごみ収集日やマナーを分かりやすく書いて掲げましょう。

ゆずり合い みんなで 力を合わせよう

- 道路に車や物を置かないように心がけましょう。
- 交通当番制を続けていきましょう。

まず一歩 かけ合う声の 響くまち

- まちの人との出会いを多くしましょう。
- 花植えや清掃活動をし、まちをきれいにしましょう。
- 近隣の町内と合同で行事をしましょう。

光園地区

ひかりかがやく 明るいまち 光園

1. 光園地区の特徴

光園地区は、佐世保市の中心部に位置する市内最大の商業地区で、初売りで全国的に有名な三ヶ町・四ヶ町商店街、玉屋があります。また、市立図書館や体育文化館、コミュニティセンターなどの公共施設のほか、共済病院などの病院やビジネスホテルなども多数あります。

この地区では、ドーナツ化現象が加速し、過疎化や少子高齢化も顕著になりました。現在では、長期居住者が減少し、マンションや賃貸住宅などの短期居住者が増加したことに伴って、老人会や児童会などの地域活動が有効にできないという状況も生じています。

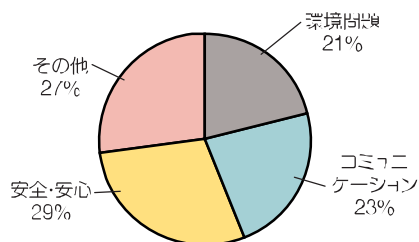
また、交通事故や大気汚染、ごみの増加など住民にとって頭の痛い問題もありますが、町内連合会をはじめとする地域の団体が協力して、これらの問題を解決するために日々活動しています。

【光園地区の状況】

- ①人口 4,583人
- ②世帯数 2,366世帯
- ③高齢化率 20.8%
- ④自治会(町内会等)数 14

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

清潔で明るいまちづくり

- 自分のごみには責任を持ち、一人ひとりが気をつけましょう。
- ごみの分別、ごみ出し日のマナーを守りましょう。
- 小さなごみでも、各自で持ち帰るよう心がけましょう。

あいさつでやさしさあふれるまちづくり

- ひとり暮らし同士でお互いに声をかけ合いましょう。
- 近所の住民が声かけをし、協力して見守りましょう。
- H頃の近所付き合いが消極的な人への声かけを増やしましょう。

声かけ合ってみんなで守るまちづくり

- 不審者を見かけたら、すぐに警察に連絡するようにしましょう。
- 各家庭で夕暮れ時から外灯・門灯などをつけるようにしましょう。
- 夜間人通りの少ないところは通らないようにしましょう。
- 地域の方に散歩時などに「たすき」や「ジャンパー」を身につけてもらうようにしましょう。

山手地区

心ふれあう 山手地区

～人にやさしく みんなで楽しく～

1.山手地区の特徴

山手地区は、佐世保市のシンボルとして市歌や校歌に折り込まれてきた烏帽子岳の頂上付近から南側のふもとにかけて広がる8町で構成されています。文明が川と共に発展したように、山手地区も烏帽子の豊かな水源と共に時代を歩んできました。

明治19年に佐世保に軍港が設置されると、山手地区は住宅地、商業地、娯楽地として繁栄しました。戦後、名切通り沿いの土地は米軍の住宅地として接収されていましたが、返還された現在では、市民会館、武道館、ふれあいセンターなどが設けられ、福祉・文化・スポーツの拠点となり、市民の憩いの場にもなっています。

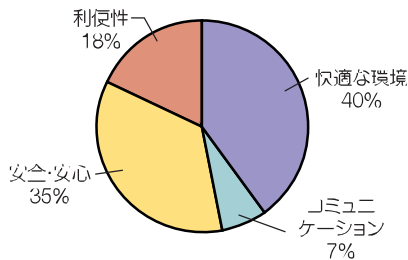
また、烏帽子岳の山頂付近には、100年の森構想実行委員会の方々や市民の手によって苗木が植樹され、温暖化防止の一環を担っています。

【山手地区の状況】

- ①人口 6,523人
- ②世帯数 2,627世帯
- ③高齢化率 27.9%
- ④自治会(町内会等)数 12

2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

マナーアップで住みよい暮らし

- 分別方法をごみステーションに掲示し、意識の向上を図りましょう。
- ペットの飼い主は責任を持ってふんの処理をしましょう。
- ごみを捨てないよう一人ひとりが心がけましょう。

たすきでつなぐ 世代愛

- 危険箇所をチェックし、安全意識を高めましょう。
- 家庭で交通ルールについて話をするようにしましょう。

安全なまちづくり

- 階段、坂道、危険な場所を調査しましょう。
- 坂道や階段を歩くことは健康のための運動と考えましょう。

あいさつ 声かけ わがまち山手

- 積極的な声かけをして、町内会への加入を勧めましょう。
- 「あいさつ」は自分からやるようにしましょう。

清水地区

誰もが住みやすく共に生きるまち

～清く明るい地域をめざして～

1. 清水地区の特徴

清水地区は、佐世保市のほぼ中心部に位置し、地区の中央には佐世保川が流れています。戦国時代には、この川を挟んで鼻竈城と佐世保城が築かれていました。江戸時代になると平戸往還が整備されるとともに、一里塚や松並木が整えられ、当時の佐世保村の中心地であった八幡町付近には、郡代役所や庄屋が置かれました。

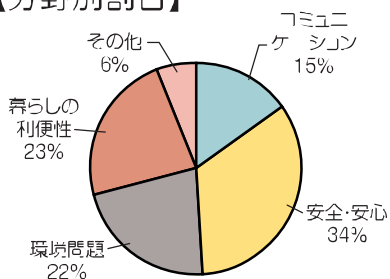
明治22年に佐世保海軍鎮守府が開庁すると、佐世保にも多くの人々が住むようになり、川沿いや山の手新しい住宅地が次々とできました。また、明治35年に市制が施行され、市役所が建設されると、周辺には道路や町並が整備され、住宅や商店街もできて、若者や子どもも溢れました。以後60有余年が経った現在でも、落ち着いた風上と人のふれあいを大切にする地域です。

【清水地区の状況】

- ①人口 7,095人
- ②世帯数 3,246世帯
- ③高齢化率 30.4%
- ④自治会(町内会等)数 15

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

共に生きる元気なまち

- ひとり暮らしの高齢者には町民の皆さんで声をかけ合い見守りましょう。
- 町内の行事には隣近所で誘い合って参加しましょう。

ふれあいのある明るいまち

- 子どもの登下校時の見守りを今後も続けましょう。
- 夜道が暗いので道端の家々に灯りをつけてもらうようにしましょう。
- 空き地や空き家は近所の人で気がけるようにし、異変に気づいたら関係者に連絡しましょう。

協力しあうきれいなまち

- ごみのポイ捨てや不法投棄について町内や班会議で話題にしましょう。
- のら犬やのら猫のえさになるごみや食べ物を不用意に出さないようにしましょう。

人にやさしい住みよいまち

- 坂道や階段には手すりをつけるなど高齢者の安全対策を考えましょう。
- 駐車場が少ないため、空き地などの利用について相談してみましょう。

大久保地区

すいっと大久保

～みんなで作ろう安全・安心住みよいまち～

1.大久保地区の特徴

大久保地区は、乃張岳の麓から佐世保川河畔にかけて開けた地域で、新旧の幹線道路や観光道路が走り、地区内には保健所・警察署・法務局などの官公庁や銀行・大型スーパーなどの施設があります。隣接地には市役所・市立総合病院・消防署もあり、市の中心部にも近いので、生活するうえでは大変便利な地区と言えます。

明治22年に佐世保海軍鎮守府が開庁すると、海軍関連の産業が盛んになり、地区の人口も増加しました。また、大正12年には、当時西日本随一と呼ばれた、モダンなコンクリート造りの大久保小学校が建てられるなど、教育文化の中心地としての歴史もあります。

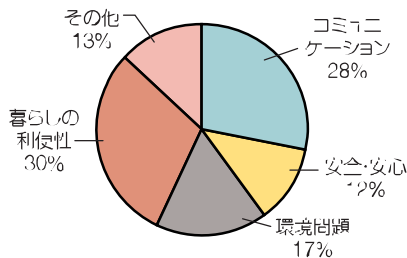
地区住民には昔ある時には進んで協力する気風があり、小学校教育には特に熱心です。

【大久保地区の状況】

- ①人口 3,525人
- ②世帯数 1,717世帯
- ③高齢化率 26.1%
- ④自治会(町内会等)数 19

2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

笑顔とあいさつのあふれるまち

- ご近所同士お互いにあいさつをするように努力しましょう。
- 行事やイベントなどには積極的に参加して交流を深めましょう。

安心・安全で明るいまち

- 道路や階段の整備ができていない場所があったら連絡しましょう。
- 町内の暗い所には年に1ヶ所ずつでも防犯等を増設していきましょう。

おとしよりにやさしいまち

- 荷物を持っているお年寄りがいたら手助けをしましょう。
- バスの本数が少ないので、タクシーを乗り合いで利用しましょう。

マナーを守ってきれいなまち

- みんなの協力と呼びかけで、ごみ出しのルールを守るようにしましょう。
- ペットと散歩の時はふんを入れる袋を持参し責任を持って処理しましょう。

金比良地区

笑顔がつなぐ すみよか金比良

1. 金比良地区の特徴

金比良地区は、佐世保市街地の西側に位置し、矢岳町・今福町・金比良町・御船町・鵜渡越町・神島町・平瀬町からなっています。

かつて「西部商栄会(商店の連合会)」があった頃は、地域内に食料品店や日用品店、書店のほか、銀行、病院などあらゆる店や機能が揃っており、映画館や芝居小屋もあって活気がありました。

しかし、年々人口の減少や少子高齢化が進んでおり、また、斜面地であるために道路が狭く緊急車両の通行が困難であるという課題もあります。

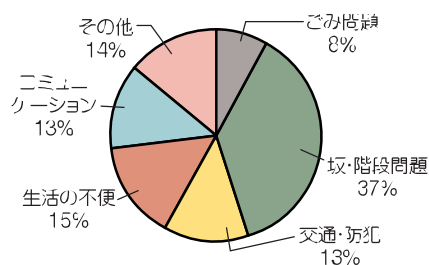
このため、平成13年からは、「若者の住み続けられるまちづくり」に向けた、「矢岳・今福・金比良地区まちづくり協議会」の活動も行われています。

【金比良地区の状況】

- ①人口 8,026人
- ②世帯数 2,135世帯
- ③高齢化率 19.2%
- ④自治会(町内会等)数 14

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

いつもきれいで楽しいまち

- ごみに気づいたら拾って所定の場所に捨てましょう。
- 学校で子どもたちに「ふるさとをきれいにしよう」と教えましょう。

お互いに助け合うまち

- 人のつながりを大切にし、ちょっとした声かけをしながら助け合いましょう。
- 広い道路と駐車スペースのあるまちづくりの話し合いを続けましょう。

安全で安心なまち

- 子どもやお年寄りを見かけたら後ろから見守りながら歩きましょう。
- 子どもが危ない場所で遊ばないように大人が注意しましょう。

明るく安心して暮らせるまち

- お年寄りの買い物には近所の人協力しましょう。
- 道路の緑地帯などに、「いこいの広場」のような場所をつくるように検討しましょう。

子どもとお年寄りを大事にするまち

- 地域みんなが見て見ぬふりをしないようにしましょう。
- 行事には誘い合って積極的に参加しましょう。

春日地区

住みよい未来を残すまち

～春日地区・自然の恵みと人の愛～

1.春日地区の特徴

春日地区は、佐世保市街地の北側に位置しています。その歴史は古く、「塚木」という地名は奈良時代の「風土記」に登場し、また、鎌倉、室町時代の「大村覚書」という古書には、領土の境として「山中観音堂」が示されています。

この地区は、明治35年の佐世保市制施行時には合併せず、昭和2年に合併するまでは東彼杵郡の飛地「東彼杵郡佐世村」となっていました。現在の横尾・春H・桜木・赤木は、昭和13年になってできた町名です。

この地区には、明治41年につくられた佐世保市初のダム式の「山の出水源地」があります。

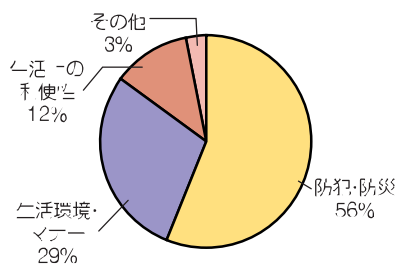
また、戦後の昭和21年に現在の天心寮の前身である「慈海寮」という戦災孤児収容施設が開設したことも特記すべきことです。

【春日地区の状況】

- ①人口 6,530人
- ②世帯数 2,835世帯
- ③高齢化率 26.1%
- ④自治会(町内会等)数 8

2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

声かけあってみんなで守る 春日地区

- 登下校の交通当番を少しでも多くの人に協力してもらいましょう。
- 高齢者や障がい者などの要援護者を支えるシステムをつくりましょう。
- 住民みんなで子どもを見守る活動を広げていきましょう。

一人ひとりが気をつけて きれいな心でまちづくり

- 町内活動に住民みんなが関心を持ちましょう。
- 日常生活の中で無理なくごみを拾う活動をしましょう。
- 近所の人で声かけを行い、みんなで助け合いましょう。

工夫して 不便さなくし 住みよいまち

- 坂道や階段が多いので、地域の人みんなで支え合いましょう。
- 近所の人や高齢者向上で助け合いましょう。(買い物をする時に声をかけ合うなど)

赤崎地区

明るく 住みよい 心のまち

～山あり 海あり 向こう三軒両隣～

1. 赤崎地区の特徴

赤崎地区は、佐世保市の市街地から北側に位置し、赤崎町・小島町・鹿子前町からなっています。赤崎町は、市街地までの交通を市営船に頼る不便なところでしたが、昭和13年の一部市営バス運行や、SSKバイパス線開通などを終て、市街地への利便性がよくなりました。

小島町は、戦前から海軍工廠で働く人たちが定住し、海軍工廠教習所の宿舎もありました。兵士はこの地から戦場へ出征していたため、公民館の敷地には小島明神様や青年団倶楽部の石碑があります。

鹿子前町には、戦時中、鉄道線路が引かれ、貯木が運搬されていました。市街地までの交通は、昭和31年に完成した石岳～鹿子前の観光道路や、昭和56年の新鹿子前トンネルの開通により便利になりました。

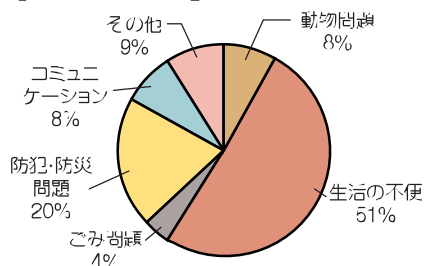
今では、西海パールシーや九十九島の展望所に多くの観光客が訪れる、魅力溢れる地域です。

【赤崎地区の状況】

- ①人口 7,623人
- ②世帯数 2,906世帯
- ③高齢化率 29.9%
- ④自治会(町内会等)数 5

2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3. 具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

あなたが変わればみんながかわる一人ひとりのこころがけ

- お互いに声をかけて注意し合い、ごみをポイ捨てしないように一人ひとりが心がけましょう。
- 気づいた人がごみを拾ったり草刈りをして、ごみを捨てにくくしましょう。

こだわって見守る安心 安全 赤崎地区

- 空き家が多いので、近所の人で時々見回りをしましょう
- 危険な場所を見つけたら、町内の役員や市役所の担当課に連絡しましょう。

ルールを守って共に生きる 赤崎地区

- 犬の飼い主は家族と思ってきちんとしつけましょう。
- 猫を捨てたり、えさをあげないように回覧板などでお願ひしましょう。

ひとりみんなのためにみんなはひとりのために

- 催しには一人ひとりができるだけ参加するように心がけましょう。
- ひとり暮らしの高齢者などには、あいさつをすることから始めて、声をかけ合ひましょう。

思い思われゆずり合いみんなの力で元気アップ赤崎地区

- お年寄りのごみ出しは近所の人が一歩かけて助け合ひましょう。
- 班単位などで話し合って日程を決めて、こまめに草刈り・掃除をしましょう。

九十九地区

わがまち九十九

～触れあい 支えあい 安心安全のまちづくり～

1.九十九地区の特徴

九十九地区は、佐世保市の北西部に位置し、東に佐世保市街地、西に自然美を誇る九十九島を眺望できる地域です。

約300年前、平戸松浦藩の支配制度が確立し、その末端支配地が「船越」とされ、藩財政の助に漁民一族を派遣し、漁業基地として定住させたと伝えられています。正徳4年(1714年)には、俵ヶ浦半島の最南端の高後崎に、平戸松浦藩高後崎番所が置かれ、異国船や密貿易などの取り締まりを行っていた歴史もあります。

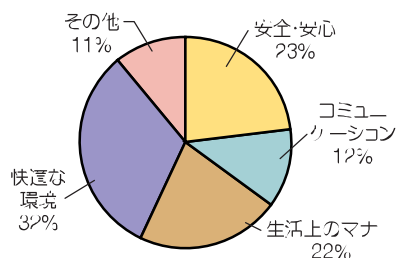
現在では、市民の憩いの場である石岳動植物園、石岳展望台からの九十九島の絶景、展海峰や花の森公園の四季折々の佇まい、白浜海水浴場・キャンプ場などが、九十九地区の貴重な財産であり、市民はもちろん大勢の観光客が訪れています。

【九十九地区の状況】

- ①人口 3,740人 ②世帯数 1,316世帯
③高齢化率 30.4% ④自治会(町内会等)数 8

2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

【分野別割合】



3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

手を取り合って広げよう安心のまち

- 地域の安全パトロールをしましょう。
- 地域で防災訓練をしましょう。
- 日頃から隣近所で声をかけ合いましょう。

声かけあって住みよいまちづくり

- 近所付き合いを良くし、声かけや見回り・訪問を行いましょう。
- 地域住民が気軽に集まれるような場所をつくりましょう。

温かい思いやりで築こう福祉のまち

- お互いが健康に気をつけるように呼びかけ合いましょう。
- 隣近所の付き合いを密にしましょう。

温かい心が織りなす住みよいまち

- 一人ひとりが気がけてごみを拾ったり、町内全体でごみ拾いをしましょう。
- ごみは各家庭で分別して、人に迷惑をかけないよう責任をもって出しましょう。